

事業名	シティプロモーション推進体制整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	総合政策部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	広報ブランド推進課				款	2	新規or継続	継続事業
	係	ブランド戦略係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	241	名称	根拠法令、条例等		目	7	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H27	実施方法	直営
	政策	4	誰もが住みたいと思う魅力あるまちづくり			終了年度	—	事業分類	その他市民に対する事業
	施策	1	都市ブランド戦略の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	効果的なシティプロモーションを行うために必要となる体制づくりを進めるものである。 庁内においては、市長を委員長とする佐野市シティプロモーション推進本部会議と部局横断的に設置する専門チームを、庁外においては民間委員で構成される佐野市シティプロモーション懇談会を開催し、各種事業に対する意見交換、評価、企画等を行う。 また、他自治体、企業、大学等とシティプロモーションにつながる場・知識・資源等の相互活用を図る。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・庁内体制を含め、数多くの効果的な情報発信主体が整う。 ・他自治体、企業、団体、大学等とシティプロモーションにつながる場・知識・資源等の相互活用を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		専門チームによる事業企画数（単年度）	事業	0	4	4	5	6
		連携事業を実施した団体数（単年度）	団体	0.0	28.0	29.0	30.0	31.0

(3) 目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・シティプロモーション推進本部会議において次年度取組方針検討 ・専門チーム（観光）による庁内連携（情報共有） ・専門チーム（定住促進）の設置 ・佐野市シティプロモーション懇談会における意見聴取 ・職員アンケート	活動指標	単位	R3	R4	R5
		シティプロモーション推進本部会議	回	0	2	1
		シティプロモーション懇談会	回	2	2	1
		専門チーム会議	回	1	1	2
		事業費計	千円	5,787	68	49
		一般財源	千円	5,787	68	49
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	地域社会の持続可能な発展をサポートし、佐野市の魅力が内外へ向けて、効果的に発信された。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		専門チームによる事業企画数（単年度）	事業	0	4	4	値が大きいほど良い	効果は変わらない
		連携事業を実施した団体数（単年度）	団体	34	38	46	値が大きいほど良い	効果が上がった

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
		指標全体	効果が上がった	費用は下がった		
				費用の増減無し	○	
				費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

定住促進に関わる関係各課との連携、ビジョンの共有が必要となる。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	専門チームの積極的な運用